

# 磁器 シキよまんば!

[早くよまなきゃ!]



## 巻頭のあいさつ

昨年の12月18日、千葉県佐倉市美術館で開催された「作陶 50年記念 上瀧勝治展一磁器に咲く花」にお邪魔してきました。

会場に並べられた60点もの作品群は圧巻でした。圧巻と言えば入口入ってすぐの、高さ1mを超える大壺。この作品を筆頭にロクロの「接ぐ」技術が余すところなく披露されており、白磁から葆光磁、布染彩磁へと至る技法の変遷もわかりやすく展示されていました。

上瀧さまには30年以上お取引いただいていることから、当社の粘土をたくさんの方にご紹介くださり、おかげで佐倉市をはじめ千葉県や東京都な



八重染彩磁大壺の前で上瀧さまと



仕事の途中で立ち寄ってくださった、和田的さまと一緒に

ど関東地区にもお届けすることができています。

ご出身が佐賀県有田町であることから、有田の産業の話や昔話など、こちらの地元の方でも知らない話もあり、盛りだくさんのお話を聞かせていただきました。お会いする度に思うのですが、楽しい時間はあっという間です^^;

佐倉市に伺う前日には、佐賀市の佐賀玉屋での鹿谷敏文さんの個展にもお邪魔してきました。私たちの活動を制限するまん延防止等重点措置などはこれで最後にして欲しい、そう祈るばかりです。

今後も個展の案内などありましたら是非お送りください!

洲野直幸



佐賀玉屋で鹿谷さまと

接ぎの技法は Youtube でも紹介されています。 Youtube 検索「上瀧勝治」

限定公開のダイジェスト版は佐倉市美術館の作陶 50年記念ページで視聴できます。 上瀧勝治 佐倉市美術館

## 勝山窯 上瀧勝治さまの作品を一部ご紹介



ので嬉しかったです。

成人式に着たものを貸してくれました。

12時半ごろから会場の嬉野市中央体育館へ向かい、待ち合わせしていた友達と合流してやっと楽しい時間。1時半に式典が始まり、感染防止のため2時間で終了。あとは友達と喋ってそのまま解散となりました。コロナ禍なので同窓会が無かったのは寂しいですが、久しぶりに同級生に会えた



同級生イベント

## Misaki's トーク



## 成人式へ!



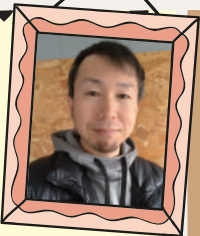
次女の水咲です。西九州大学看護学部2年生です。

1月4日が成人式でした! 旧塩田町のころから、帰省している人が出席しやすいよう毎年この日に行われています。

当日は、着付けの予約が午前6時。その前に慣れないファンデーション。普段メイクはしないのに、お店の人に塗ってくるように言われて4時半起き。8時前に着付けも髪の毛のセットも終わって一旦帰宅。9時半ごろから写真館へ。続いて自宅でも写真撮影。祖父母とも一緒に撮りました。着物は叔母である母の妹が



# 娘が絵画コンクール 入選の快挙!



はじめまして、筒井健です。工場内で粘土の製造（おもに粉碎からケーキの状態まで）を担当しています。ときどきは配達作業も行います。ニュースレター第2号の社員紹介で少しだけ紙面に登場しました。社長の依頼で今回はじめて原稿を書いています。



淵野陶磁器原料には21歳のときに入社し、今年で丸20年が経ちました。会社がある嬉野市の隣で、昨年、大雨被害を受けた武雄市生まれ武雄市在住です。現在41歳、血液型はA型でおとめ座、趣味は筋トレです!



平成24年に3つ年下の家内と結婚し、今は小学3年生と1年生の娘がいます。長女が明日菜、次女が菜々花、2人とも3月生まれなので春にちなんだ名前をつけました。

昨年の10月、長女が学校の授業で描いた風景画が武雄市の学童美術コンクールで特選に選ばれました!

実は、私も娘と同じ小学3年生の時、同じ武雄市の学童美術コンクールで特選、佐賀県で準特選になっています。ですから、娘を「おめでとう、よくやったね」と褒めたあと「パパは県で準特選やったよ」と自慢しました(笑)。そのときの絵は今も自宅のリビングに飾ってあります。

そのあとです、娘の絵はなんと佐賀県でも特選になるのです。驚くと同時に自慢した自分が恥ずかしくなりました。追い打ちを掛けるように明日菜のひと言、「パパに勝ったね♪」。・・・撃沈です。

後日、入選作を一堂に集めた佐賀県学童美術展が開催され、娘の作品を家族みんなで見に行くことに。そこで展示された絵が画集になるとのことで、即決で申し込みました!

美術展終了後、しばらくして長女の絵が返ってきました。私の絵の隣に飾りたいと言うと妻は、「あなたの絵を外して明日菜の絵を飾りましょう」だって(泣)。

そう言われてもやっぱり2つ並べて飾りたいです! 筒井 健



▶明日菜の特選



◀私の準特選

母の妹ツカは小城炭鉱で働き始めます。そこで大島久雄と出会い、結婚し、小城にある久雄の実家で、夫の家族と暮らすようになります。



## 第28話 会長さんの 昔話

林田家に引き取られた隆は、私の2つ下でしたので小学生の頃は一緒に遊んでいました。校区が違い、学校は異なりましたが家は近かったため、よく学校帰りに寄りつたり、

閉山後のことでした。おそらく大島久雄は佐賀市内の佐賀整肢学園に就職します。ツカと久雄の間には3人の子どもがおり、当初は佐賀市内の狭いアパートに家族で住んでいました。が、ツカと子どもたちは塩田で暮らすようになり、住まいはうちの工場の敷地内に移築した古家でした。もともと、どこにあつた家なのか私には知りませんが、父多八が姪のアキエ(前々回に紹介)の夫で大工の辰郎に移築改築させた家です。そこには当初、うちの

工場が水害に遭う度に駆けつけられていた久雄は、佐賀の休みの手伝つてくれたり、だるうと思つてもツカたちが暮らす家も工場敷地内にあつたので床下



▲山口鉱山(株)小城炭鉱

までは浸水してしまいました。昭和50年ごろ、ツカと久雄は隣の嬉野町に家を建てます。しかし、晩年その家を売ることになるのです。(つづく) 淵野義則

有限会社 淵野陶磁器原料

〒849-1426 佐賀県嬉野市塩田町大字五町田乙 287-1

TEL 0954-66-4207 / FAX 0954-66-3747 / E-mail info@fromform.jp

このニュースレターは、これまでご注文いただいた方、サンプルをお送りしました方、名刺交換をさせていただいた方など、ご縁がありましたみなさまにお送りしております。必要のない方は、たいへんお手数ですがその旨を上記までご連絡ください。

だいが春らしくなってきましたね!!

毎年この時期は桜の開花が待ち遠しいです!

淵野 陶磁器

<https://fromform.jp/>

